

「へそのまち」がさらにつながる

災害時の相互応援の覚書を締結

10月22日、山都町が災害時の相互支援の覚書を「全国へそのまち協議会」に加盟する7つの自治体で締結しました。この協議会に加盟している市町村は「九州のへそ」である山都町のほか、兵庫県西脇市（日本のへそ）、北海道富良野市（北海道のへそ）、栃木県佐野市（日本列島の中心）、群馬県渋川市（日本のまんなか）、岡山県吉備中央町（岡山のまんなか）、沖縄県宜野座村（沖縄本島の中心）です。

東日本大震災のような広域の災害が起きた場合には、近隣町村間での支援は困難を極めます。このような時に、全国に点在するへそのまち自治体が連携し、被災した加盟自治体に対して生活必需品や資材・機材の提供、職員の派遣などの支援をスムーズに行うための覚書です。昨年の協議会の総会で「へその絆をさらに強めたい」と西脇市が提案、今年の総会にあわせて締結されました。

この覚書が活かされることが一番良いことです。しかし、災害はいつどこで起こるかわかりません。災害時の応援、支援が円滑に行われることにより、『へそのまち』が今まで以上に強い絆で結ばれた、そんな覚書の締結でした。



締結後、西脇市のイベントに参加した加盟自治体の市町村長（左から3人目が甲斐町長）

町長室から

甲斐 利幸

徳島県上勝町で全国棚田サミットが開かれました。農水省が景観などに優れた全国の棚田100箇所を「棚田100選」して認定したのを記念し、毎年全国各地で開催されているものです。

徳島県上勝町は、高齢者の方々が料理の添え物（飾りや敷物など）として使う、木の葉などを山採りして料亭などに出荷、大きな産業として確立し、全国から驚きの評価を受けています。その成功までの苦労話や失敗談を映画化するそうです。田舎にあっても、知恵と工夫によりビビットな輝きが見られます。さらに上勝町は環境行政に熱心な町でもありチリが路傍に見あたりませんでした。

条件不利地域にあっても、日本の農業農村の原風景を農業の営みの中で保全しています。そこには、永年にわたつての美意識が自然と根付いていました。効率主義だけにとらわれずに、日常の生活環境がどうあるべきか、景観はどうあるべきかを論じあいながら、圃場整備が進められていました。標高が高く、地形にも恵まれない土地を、矩形という固定概念にとらわれない姿で整備していました。価値

観は時代背景を写すこともありますが、この地区の選択は、後々にも不易の評価を受けるものと思います。

山都町では島本峰地区、菅地区の2箇所が農水省から棚田100選として認定されています。さらに昨年、通潤用水と白糸台地が文部科学省から重要な文化的景観として認定されており、町内3箇所が全国から認められていることになります。

その棚田サミットが来年度山都町で開催されます。全国から500人を超える参加者がこの町を訪れます。都市部の皆さんが田舎の風景にノスタルジーを覚え、田んぼのあぜ道をゆっくり散策されることでしょう。

条件の厳しい農業・農村ではありますが、私は今、人々の田舎や自然への緩やかな帰郷現象を実感しています。あまりにも隣が近いために起こるトラブルや、近所づきあいの不得手から、喧噪の中の孤独感にさいなまれる社会問題などは田舎にあつては希有なものです。

私たちは、誇るべき山都町に住んでいます。きれいな環境は人の品格を高めます。家、屋敷を美しくし、山都町全域でチリのポイ捨てのない公園高原都市をめざしたいと考えています。人をもてなす気持ちも培いたいものです。

自然のなかで豊かに育つ子どもたち

その②③

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治

阿蘇の南外輪山を源とする大矢川は、清和地区から矢部地区を流れ、緑川に合流する。この大矢川で、川の水環境調査を兼ねた観察会を毎年秋分の日に実施している。調査地点には小さな滝があり、流域一帯の河川工事が進む中、今から16年前、この滝は工事によって消える危機にあつた。その時、地元の中川さんら地域住民の方々が「この場所は私たちが幼い頃から川遊びをして親しんできた貴重な場所」と思いを訴えられ、矢部郷自然観察会も、中川さんたちの願いを受けて滝やその周辺の環境調査を行った。結果は、生息する生物種が多く、自然環境が豊かに残っていることが分かり、景観の素晴らしさを含めて報告書にまとめ当局に提言した経緯がある。洪水による被害などについて検討された結果、滝周辺は現状のままに残されたのだった。



今年で16回目となる大矢川での観察会に、地元の清和小学校の子どもたちが保護者と共に参加してくれた。大矢川に久しぶりに子どもたちの歓声が響いた。調査の結果、川の水質は良好で「快適な水環境」と判定できた。

子どもたちが、地域での様々な自然体験などを通してふるさとを見つめ、ふるさとを愛し、誇れる大人に成長して欲しいと願う。

YOU&YOU通信

Vol.54

☆結婚相談員です☆

毎年、YOU&YOUを通して多くのカップルが誕生しています。地元での交流の場に、男性・女性の皆さん、是非参加してみませんか。出逢いのチャンスはあります。一日でも早く、幸せを掴んでほしいと思います。登録をお待ちしています。



興梠 桃子さん
(今)
TEL 83-0524

☆10月交流会紹介☆

10月の交流会は30歳代9人の参加があり、阿蘇方面へ出かけました。



○バラ園の様子

今後の交流会計画

- 11月【食事会☆トークタイム&ボウリング】
- 12月【クリスマス交流会】
- H24年1月【ボウリング大会&新年会】
- H24年2月【グラスアート作成体験&鍋パーティー】
- H24年3月【長崎ハウステンボス泊交流会】

●お問い合わせ先

山都町役場 浜町事務所 総務課（成瀬・吉田）
【専用電話】090-6565-6566
【専用アドレス】marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp
【専用アドレス携帯】you_and_you.docomo.ne.jp